

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二一年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二一年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 一

問題一

問一

ナースとしてふさわしくない行動だから。

問二

おじいさんが、他人のために自分のできることを見つけたこと。

問三

患者自身を何か「してもらつ」「人と意識せざるを得ない状態にすることで、患者の生きよつとす  
る力を削いでしまっていること。

問四

Aは他者に「関心を持たれる」ことについて、Bは他者に「関心を持つ」ことについて、  
書かれている。

自分を支えることができたという想いが綴られている点。

問五

他人に迷惑をかけることは、迷惑をかけられる人に生きる力を与えることがあるから。

問六

ア

問七

何もしないことの方が、多くをなしとげることがあるということ。

問題二

問一

自慢の漁船であるえびす丸を、釣り舟につかわれるのがいやだったから。

問二

バーベキューをしたかった。

問三

客をばかにするようなことをしてしまったこと。

問四

エ

問五

観光客が自分たちの大切な島を汚したり、無遠慮に自分たちの生活の中に入ってきたり(土足で  
あがりこんできたり)すること。

座席番号
受験番号
氏名

合計得点
------

問六

観光客さえ来なければ、捨てられた釣り針を「みかん」が飲み込むこともなかったということ。

問七

自分たち以外の人の生活にも厳しさがあるのだという灯子の指摘に、自分の視野の狭さを思い知らされたから。

問八

オ

「イ」には部分点があります。

問題三

節

粉雪

盟約

功績

苦

ひかく

ぞうに

た

わけ

ひたい

問題四

あ

げ

足を

と

る

そ

り

が

あ

わ

て

ぐ

す

ね

を

ら

ち

が

あ

か

け

り

を

つ

け

問題五

筋

時

鉦

舌

許